

令和6年度愛媛県原子力防災訓練結果概要

1 訓練の目的

伊方発電所で原子力災害が発生した場合に備え、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

2 実施日時

令和6年10月16日(水) 8:30~13:00
10月17日(木) 8:30~15:00

3 実施場所

愛媛県庁ほか、伊方発電所を中心としたおおむね半径30km以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

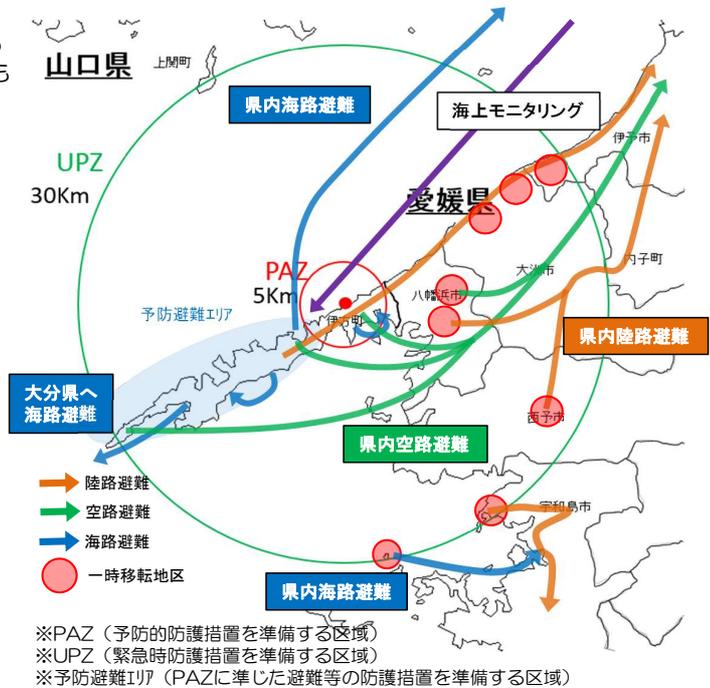
4 訓練項目・実施日

	10/16(水)	10/17(木)
(1) 緊急時通信連絡訓練	●	●
(2) 緊急時モニタリング訓練	●	●
(3) 災害広報訓練	●	●
(4) 屋内退避訓練	●	●
(5) 災害対策本部訓練	●	●
(6) オフサイトセンター運営訓練	●	●
(7) 原子力災害医療活動訓練	●	●
(8) 自衛隊等災害派遣要請訓練	●	●
(9) 住民避難・誘導訓練	●	●
(10) 要配慮者避難訓練	●	●
(11) 交通規制訓練	●	●
(12) 発電所内緊急時対応訓練	●	●
(13) 道路啓開訓練	●	●

※内閣府図上演習に合わせて県現地対策本部運営活動訓練を9/11に実施
※JAXAと連携した航空運用調整に係る実証実験を10/17に実施

5 参加機関及び参加人数

96機関 19,293人
【内訳】(要員)1,666人 (住民)屋内退避17,163人、住民避難464人



※PAZ (予防的防護措置を準備する区域)
※UPZ (緊急時防護措置を準備する区域)
※予防避難エリア (PAZに準じた避難等の防護措置を準備する区域)

<訓練想定>

- 地震が発生し、伊方発電所3号機の原子炉が自動停止した後、原子炉冷却材漏えい時における非常用炉心冷却装置による注入不能が発生したことにより、原子炉格納容器の破損に至り、放射性物質の放出による影響が発電所周辺地域に生じた。
- 伊方町全域で避難指示、八幡浜市・大洲市・西予市・宇和島市・伊予市の一部地区で、一時移転指示が発出された。
- 大分県への海路避難など一部訓練については、複合災害による道路寸断等、陸路避難が困難なケースを想定。

重点項目

▶ 住民避難の多様化

- ・松山海上保安部ゴムボートによる漁港からの住民搬送【新規】[10/17]
- ・訓練初利用の3地点を含む臨時ヘリポートからの空路避難【拡充】[10/17]
- ・液化化により隆起したマンホールの段差解消(道路啓開)【新規】[10/17]
- ・地震による家屋倒壊を想定した、指定避難所等での屋内退避【拡充】[10/17]

▶ 実践的な図上訓練による要員の対応力向上

- ・地震発生直後の初動対応に焦点を当てた県災害対策本部運営【拡充】[10/16]
- ・ドローン撮影映像の精緻な分析による避難経路の確認【拡充】[10/16]

